

「膿疱性乾癬患者における顆粒球単球吸着除去療法の有効性及び安全性の検討」 に関する研究のお知らせ

帝京大学医学部附属病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：2021年6月22日～2026年3月31日

〔研究課題〕

膿疱性乾癬患者における顆粒球単球吸着除去療法の有効性及び安全性の検討

〔研究目的〕

膿疱性乾癬に対する顆粒球単球吸着除去療法の有効性及び安全性を比較検討します。

〔研究意義〕

2012年より膿疱性乾癬に対して顆粒球単球吸着除去療法が使用可能となり、主に従来の治療に追加する治療として使用されてきました。薬物療法ではなく活性化した白血球を選択的に除去することにより治療効果を発揮するため、安全性の高い治療として知られています。膿疱性乾癬は希少疾患であり患者様の数が限られているため、多数の患者様に対して比較検討した研究は限られています。そのため当院では複数の患者様に研究にご協力いただくことで、より質の高い研究として報告することを目指します。

〔対象・研究方法〕

2016年1月から2021年7月までに帝京大学医学部附属病院皮膚科において顆粒球単球吸着除去療法にて治療された膿疱性乾癬の患者様20例を対象とします。顆粒球単球吸着除去療法の治療前後での皮膚の症状、発熱などの全身症状、及び採血結果をカルテから情報採取し、それらの変化を調べ、効果と安全性を検討します。

〔研究機関名〕

帝京大学医学部附属病院 皮膚科

責任者：帝京大学医学部皮膚科学講座 主任教授 多田弥生

〔個人情報の取り扱い〕

個人情報は厳重に管理されます。学会や論文など学外へ情報を発表する際には匿名化を行うため、患者様が特定されることはありません。対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。ご協力よろしくお願い申し上げます。データは研究終了後、帝京大学臨床研究センターにて10年間保存し、その後は破棄します。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者：帝京大学医学部皮膚科学講座 主任教授 多田 弥生

研究分担者：臨床助手 内田秀昭、准教授 鎌田昌洋

所属：帝京大学医学部皮膚科学講座

住所：東京都板橋区加賀2-11-1 TEL:03-3964-1211

(代表) [内線 32610]